

【取扱い厳重注意】

素が大量に発生して、それが格納容器内に出てきて、そういうところからリークしたものが上部にたまったんじゃないかと、後から考えると、それが結び付いてきたということになりますかね。

○回答者 はい。

○質問者 それで、現実振り返ってみると、前日 11 日の夜ころリアクタービルの内部あるいはその周辺では放射線量が相当上昇していて、これは格納容器の中からどンドンリークしていたという可能性が高いわけですね。

○回答者 高いですね。

○質問者 そのような状況証拠なんかも併せてずっと考えてみると、やはり建屋の中に水素が充満して、それが爆発したんじゃないかという可能性が一番高いんじゃないか、そういう議論になっておったという理解でよろしいですか。

○回答者 そういうことです。

○質問者 それで、今、話が前後いたしますけれども、当時、爆発の前から、今、SLC ということで、これはホウ酸水の注入系のラインを、これは主に 2C というパワーセンターの辺りに電源車をつないで、それでケーブルを通して、1号機、それから2号機もそうだと思うんですが、SLCの注入系ということを一つきちんとラインを整えて、それで注入しようと試みておられたということなんですね。

○回答者 はい。

○質問者 もう一つ、当時ですと、これは時系列なんかを見てみますと、1号機の3月12日の、これは時系列の8ページになりますが、14時53分に消防車による原子炉への淡水注入80トンと、注入完了とありまして、14時54分に原子炉への海水注入を実施するよう、発電所長指示とありまして、この海水注入というのは、その水源というんですか、それは、最初の海水注入の指示になりますね。

○回答者 というか、書いてあるものとしては最初になりますけれども、この日の午後からいずれも淡水がなくなるから海水注入をする準備をしておきなさいということは言うておりましたので、ですから、ラインナップも、この前お話ししたように、水をどこから取るかということは非常に難しい、海から直接取れない、どこの海もポンプがないものですから、この前も最後に申し上げたんですが、3号機の逆洗弁ピットに津波のときの海水が残っていると、かなり量があるというのを聞いて、そこからですと、そんなに要りませんので、そこから取るしかないなというようなところを、既に海水注入を実施するよう指示した前に検討して、これでやろうということは決めておって、では、それで注水しようと最終決定したのが、14時54分で、もともとの検討は、その前にやっている。

○質問者 要するに、これは、その指示というのは、直近で淡水の水源がなくなってきたので、そこから海水の方にシフトせよというようなことわけですね。それは、海水ということをお考えになったのは、その日のお昼ごろには、そういう考えになって。

○回答者 もうなっていました。

○質問者 これは、それまで、炉の中に海水を入れるというようなことは、所長の経験では、それまで聞いたことはありませんか。

○回答者 まずないです。世界中でそんなことをしたことは1回もありませんから、ないんだけど、冷やすのに無限大にあるのは海水しかないですから、淡水は、この前もお話ししたように有限で、どこかで尽きるのは決まっていますから、もう海水を入れるしかない、もう有無なしの話ですね。ですから